



## 2021年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年11月15日

上場会社名 ビートレンド株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4020 URL <https://www.betrend.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 井上 英昭  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理担当 (氏名) 本多 誠一 TEL 03 (6205) 8145  
 四半期報告書提出予定日 2021年11月15日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年12月期第3四半期の業績 (2021年1月1日～2021年9月30日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第3四半期	742	17.9	39	△51.6	39	△51.5	26	△52.7
2020年12月期第3四半期	629	—	80	—	80	—	55	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第3四半期	24.62	23.38
2020年12月期第3四半期	58.40	—

(注) 1. 2019年12月期第3四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2020年12月期第3四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

2. 2020年12月期第3四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は2020年9月30日において非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第3四半期	778	647	83.2
2020年12月期	700	552	78.9

(参考) 自己資本 2021年12月期第3四半期 647百万円 2020年12月期 552百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年12月期	—	0.00	—	—	—
2021年12月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2021年12月期の業績予想 (2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,040	21.4	89	△18.8	89	△15.3	61	△19.7	57.52

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：有

業績予想の修正については、本日 (2021年11月15日) 公表いたしました「2021年12月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期3Q	1,070,400株	2020年12月期	1,028,800株
② 期末自己株式数	2021年12月期3Q	一株	2020年12月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期3Q	1,058,630株	2020年12月期3Q	943,400株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社の現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではなく、また、実際の業績等は様々な要因により、大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算説明資料は、TDnet及び当社ホームページにて同日開示しております。なお、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、証券アナリスト、機関投資家向けの決算説明会を中止することといたしましたが、決算説明の動画を当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第3四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(セグメント情報等) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において判断したものであります。

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症対策による度重なる緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が再延長されたことにより停滞し、当社の主たる顧客層である小売業、サービス業、飲食業等においても、営業自粛や時短要請などの影響を受け、企業活動が大きく制限されました。

当社においてはこのような環境の下、在宅勤務、時短勤務、時差出勤の継続に加え、社員に対し新型コロナウイルスワクチンの接種を推奨するなど、より安心できる社内環境の維持に努めてまいりました。

営業活動においては、Webや電話によるリモートでの顧客面談が中心ではありましたが、直販での営業活動に加え、当期の営業施策である販売パートナーとの共同営業等により、新規顧客においては、外食産業や、スーパーマーケット等の小売業からの受注に加え、ショッピングモールや道の駅の運営会社、雑貨などの小売業からの受注がありました。飲食業においては、需要が急増しているテイクアウト等に対応するモバイルオーダーシステムの受注が活発化しました。

2021年9月末時点でのスマートCRMサービスのARRは484,292千円（前年同期比91,293千円増）に増加しました。メールマーケティングサービスのARRも264,259千円（同1,048千円増）と増加に転じ、CRMサービス全体のARRとしては、748,552千円（同92,342千円増）となりました。

2021年9月末時点での会員数は、19,355,921名となり、スマートCRM導入企業による継続的な会員獲得の活動により、2020年9月末に比べ2,201,343名増加しました。これに伴い従量料金の売上も増加しスマートCRMサービスの売上全体の増加に寄与いたしました。

2021年9月末時点での契約社数は、2020年9月末以降、スマートCRMサービスは顧客単価の高い小売業、外食産業等を中心に23社増加した一方、比較的顧客単価の低い外食産業、結婚式場、フラワーショップなどの19社が新型コロナウイルス感染症の影響による事業縮退により解約したため全体では151社と、前年同期と比べ4社の増加となりました。メールマーケティングサービスは462社と前年同期に比べ26社減少し、CRMサービス全体としては、契約社数613社（前年同期比22社減）となりました。

初期費用、カスタマイズ開発、SMS費用等で構成されるカスタマイズサービスについては、前四半期に引き続きモバイルオーダーシステム関連による新規売上が売上増加につながりました。

販売費及び一般管理費については、前四半期に比べ、支払報酬が増加したものの、全体としては前四半期に比べ減少となる一方で、売上原価については、ソフトウェア運用原価を大幅に低減させる目的で、アプリ・プッシュ通知サービス用の新開発プラットフォームの開発を完了させましたが、従来プラットフォームからの全クライアントへの移行作業の方が遅延し、当初目論んだ原価低減が達成できませんでした。さらにLINEミニアプリなどの戦略的なソフトウェアの開発や従来サービスの品質・運用水準を向上させるための投資を前四半期より引き続き追加で行ない、人件費及びソフトウェア外注費で構成されるサービスの運用費用も追加で発生しました。また、モバイルオーダーシステムの販売に伴う店舗用機器類の仕入、カスタマイズ等の売上原価が一時的に発生しました。

この結果、当第3四半期累計期間における売上高は742,331千円（前年同期比17.9%増）、営業利益は39,138千円（同51.6%減）、経常利益は39,135千円（同51.5%減）、四半期純利益は26,062千円（同52.7%減）となりました。

なお、当社は単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は610,814千円となり、前事業年度末と比較して57,356千円の増加となりました。これは主に、売掛金回収による現金及び預金の増加43,103千円、売上高増加に伴う売掛金の増加14,036千円及び仕掛品の減少1,653千円によるものであります。

固定資産は167,715千円となり、前事業年度末と比較して21,162千円の増加となりました。これは主に、本社オフィス移転に伴う設備投資等による有形固定資産の増加24,170千円、減価償却費の増加によるソフトウェアの減少12,739千円、ソフトウェア仮勘定の増加9,816千円などによるものであります。

この結果、総資産は、778,530千円となり、78,519千円の増加となりました。

(負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は105,960千円となり、前事業年度末と比較して32,397千円の減少となりました。これは主に、仕入の増加による買掛金の増加24,471千円、借入金の返済による1年内返済予定の長期借入金の減少4,978千円、法人税納付による未払法人税等の減少25,789千円、本社移転の際の旧オフィスの退去時の資産除去債務の履行に伴う資産除去債務の減少6,269千円、流動負債その他の減少19,831千円によるものであります。

固定負債は24,985千円となり、前事業年度末と比較して15,533千円の増加となりました。これは、借入金の返済による長期借入金の減少8,356千円、新オフィスの資産除去債務の増加23,889千円によるものであります。

この結果、負債合計は130,946千円となり、前事業年度末に比べ16,863千円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産は647,583千円となり、前事業年度末と比較して95,382千円の増加となりました。これは、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加26,062千円、オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資及び新株予約権の行使に伴い資本金及び資本剰余金がそれぞれ34,659千円増加したことなどによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年12月期の通期業績予想につきましては、最近の業績の動向を踏まえ、2021年2月15日に公表しました通期業績予想を修正しました。

2021年12月期につきましては、新型コロナウイルス感染症の再拡大や政府・自治体による飲食業・小売業への自粛・時短要請などの影響により、当社のビジネスにおいても少なからぬ影響を受けました。一方では、比較的ビジネスが活発であるドラッグストア、スーパーマーケットなどの量販店を中心とした小売業において顧客管理のDXに注力する企業が多く、当社のサービスに対する需要は底堅いものがありました。また、大手の外食企業からは、消費者の外食に対する行動変容に伴い、モバイルオーダーシステムを受注しております。

一方で、当初今期で目論んだ新アプリ・プッシュ通知プラットフォームへの移行は開発は完了したものの、全クライアント環境の移行作業が完了せず、ソフトウェアの運用原価において予想通りの金額の削減ができませんでした。また、LINEミニアプリ用のプラットフォーム開発やデータセンター運用に関わる戦略的追加投資などを実施し、2020年12月期と比べ売上高は増加するものの、営業利益、経常利益及び当期純利益については減益となる見込みです。

詳細につきましては、本日(2021年11月15日)公表いたしました「2021年12月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年12月31日)	当第3四半期会計期間 (2021年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	440,777	483,880
売掛金	97,478	111,515
仕掛品	3,540	1,887
その他	11,817	13,705
貸倒引当金	△155	△174
流動資産合計	553,458	610,814
固定資産		
有形固定資産	4,319	28,489
無形固定資産		
ソフトウェア	97,925	85,186
ソフトウェア仮勘定	1,841	11,658
その他	350	350
無形固定資産合計	100,116	97,194
投資その他の資産	42,117	42,031
固定資産合計	146,553	167,715
資産合計	700,011	778,530
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	25,877	50,349
1年内返済予定の長期借入金	16,668	11,690
未払法人税等	25,789	—
資産除去債務	6,269	—
その他	63,753	43,921
流動負債合計	138,357	105,960
固定負債		
長期借入金	9,452	1,096
資産除去債務	—	23,889
固定負債合計	9,452	24,985
負債合計	147,809	130,946
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	276,568	311,227
資本剰余金	206,568	241,227
利益剰余金	69,065	95,128
株主資本合計	552,201	647,583
純資産合計	552,201	647,583
負債純資産合計	700,011	778,530

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2020年1月1日 至2020年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自2021年1月1日 至2021年9月30日)
売上高	629,445	742,331
売上原価	270,209	367,259
売上総利益	359,236	375,072
販売費及び一般管理費	278,450	335,933
営業利益	80,785	39,138
営業外収益		
為替差益	—	82
その他	98	8
営業外収益合計	98	91
営業外費用		
支払利息	172	94
支払保証料	12	—
その他	74	—
営業外費用合計	259	94
経常利益	80,624	39,135
税引前四半期純利益	80,624	39,135
法人税、住民税及び事業税	25,341	9,992
法人税等調整額	186	3,079
法人税等合計	25,527	13,072
四半期純利益	55,096	26,062

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2021年1月18日付で、みずほ証券株式会社からオーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資の払込みを受け、資本金が31,684千円、資本準備金が31,684千円増加しました。

また、当第3四半期累計期間において、新株予約権の行使による新株発行を行い、資本金が2,975千円、資本準備金が2,975千円増加しました。

これらの結果、当第3四半期会計期間末において資本金が311,227千円、資本準備金が241,227千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

当社はbetrend事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第3四半期累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)

当社はbetrend事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。